

平成27年 7月10日

各 位

会 社 名 株式会社テーオー小笠原
 代表者名 代表取締役社長 小笠原 康正
 (JASDAQコード・9812)
 問合せ先
 役職・氏名 取締役副社長 太田 修治
 電話 0138-45-3911

たな卸資産等評価損及び特別利益の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成27年5月期決算において、下記のとおりたな卸資産等評価損及び特別利益を計上することとしましたのでお知らせいたします。また、これらの計上及び最近の業績動向を踏まえ、平成27年1月8日に公表いたしました平成27年5月期通期連結業績予想を修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. たな卸資産等評価損の計上

本日開催の取締役会において、当社住宅事業部が宅地開発を進めるため取得した青森県青森市の土地（販売用不動産）及びその取得のため支出した前渡金について、当社は青森市による都市再開発構想の進捗状況等を注視してまいりましたが、今後、短期間のうちに当該土地の開発行為を実施できる環境が整うことが困難であると判断し、たな卸資産等の評価損818百万円を売上原価に計上いたします。

2. 特別利益の計上

当社が平成27年4月27日付でお知らせしました上場投資有価証券1銘柄の売却について、投資有価証券売却益が427百万円発生しましたので、特別利益として計上いたします。

3. 平成27年5月期通期連結業績予想数値の修正

(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	38,500	400	300	200	31.98円
今回修正 (B)	39,132	△179	△252	4	0.64円
増減額 (B-A)	632	△579	△552	△196	—
増減率 (%)	1.6	—	—	△98.0	—
(参考)前期実績 (平成26年5月期)	38,919	536	507	365	58.43円

(修正の理由)

売上高につきましては、当下半期後半から消費税増税の反動も落ち着きを見せ、消費動向が緩やかながら回復基調となり始めたことから、前回予想を若干上回りました。損益面におきましては、上記1. に記載によるたな卸資産等の評価損の計上に伴い営業損益及び経常損益は前回予想を大幅に下回ることとなりました。当期純利益につきましては、上記2. に記載の投資有価証券売却益による特別利益の計上などがありましたが、前回予想を196百万円下回ることとなりました。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでいます。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上